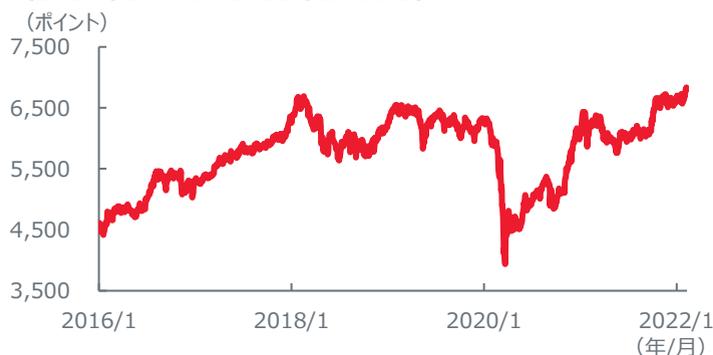


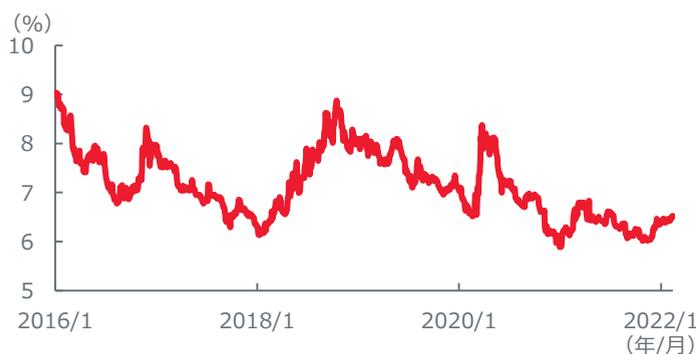
(対象期間：2022/2/7～2022/2/11)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年2月11日)

【株式市場】

ジャカルタとバリで導入されている活動制限が継続する中、7日の株式市場は国内総生産（GDP）の発表を受けて上昇しました。2021年10-12月期のGDP成長率は前年同期比+5.02%と、前期の同+3.51%から伸び率は大幅に加速しました。8日は行動制限の強化を背景に国内投資家による小売株の売りなどを受けて小幅下落しましたが、9日は好決算の続く銀行株を中心に外国人投資家からの資金流入が継続し上昇しました。10日と11日は利益確定売りなどを背景に小幅下落しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

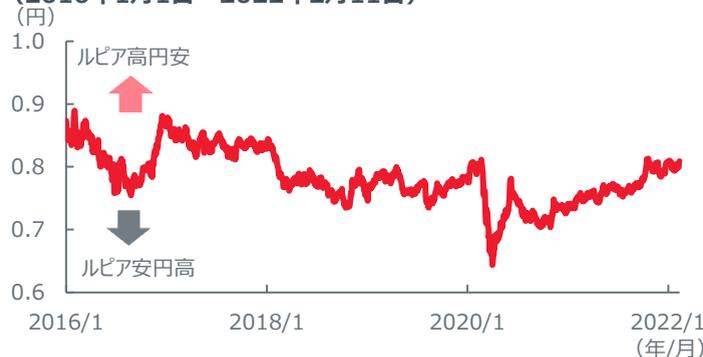
| 2022/2/4 | 2022/2/11 | 変化率 |
|----------|-----------|--------|
| 6,731.39 | 6,815.61 | +1.25% |

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年2月11日)

【債券市場】

週初、8日のイスラム国債入札を前に様子見姿勢となり、実際の入札では応札額が前回を下回り、利回りは上昇（価格は下落）しました。9日は外国人投資家からの資金流入を受けて利回りはやや低下しました。10日、インドネシア中央銀行（BI）は市場の予想通り政策金利を据え置きました。BI総裁は会合後の会見で、インフレが目標レンジの2-4%を超える兆候が表れるまで低金利政策を継続すると述べ、引き続き経済成長を下支えする姿勢を明確に示しました。週末にかけては米国債利回りの上昇を受けてインドネシアの債券利回りも上昇しました。10年国債利回りは前週末比で上昇しました。

| 2022/2/4 | 2022/2/11 | 変化幅 |
|----------|-----------|--------|
| 6.462 | 6.522 | +0.060 |

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年2月11日)

【為替市場】

ルピアは狭い値幅での推移となりました。週初はインドネシア国内で新型コロナウイルスのオミクロン株の感染急拡大が嫌気され対米ドルで下落しました。その後は債券や株式市場への外国人投資家からの資金流入を受けて堅調に推移しました。週末にかけて米国金利が上昇する中でもルピアは安定的な動きとなりました。大手格付け会社のムーディーズは11日、インドネシアの輸出と投資を支援する政府の構造改革を評価するとし、格付けを現在のBaa2で据え置き、見通しを安定的としました。ルピアは前週末比で対円、対米ドルともに上昇しました

| 2022/2/4 | 2022/2/11 | 変化率 |
|----------|-----------|--------|
| 0.7994 | 0.8087 | +1.16% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメント作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメント株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメント株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ